

令和元年度第1回 富士見市こども家庭福祉審議会会議録要旨

<日時> 令和元年7月25日(木) 午後1時30分～3時20分

<開催場所> 中央図書館 視聴覚ホール

<出欠状況>

矢島	宮	岩田	柳原	松本伸	田中	高橋
○	○	欠席	○	○	○	○
細谷	成田	石川	横田	伊藤	翁川	松本由
○	○	○	○	○	○	○
安達	遠藤					
○	○					

<事務局>

子ども未来部長 子育て支援課長 子ども未来応援センター所長
保育課長 みずほ学園長 子育て支援課副課長

<傍聴人>

0名

<次第>

- 1 開 会 子育て支援課長
あいさつ 子ども未来部長
- 2 委員自己紹介
- 3 審議会の役割及び令和元年度審議内容について(資料1)
- 4 会長及び副会長選出
- 5 議 題
 - (1) 「夢つなぐ富士見プロジェクト⁺(プラス) ～富士見市子どもの貧困対策整備計画～」
の点検・評価について
 - (2) 第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画の策定について
 - ・策定の概要
 - ・スケジュール
 - ・ニーズ調査結果について
 - ・計画構成案
 - (3) 第一期富士見市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について
- 6 事務連絡
- 7 閉 会

<議事>

(1)「夢つなぐ富士見プロジェクト⁺(プラス) ~富士見市子どもの貧困対策整備計画~」
の点検・評価について(資料2)

~事務局より説明~

【会 長】初めて参加される委員の方もいらっしゃいます。今後会議を進める中で理解しておいた方がよい事もあると思うので、わからない事があれば遠慮なく聞いてください。

【委 員】子ども食堂とは、どういったものでしょうか。

【事務局】子どもの貧困対策として、大変有効な手段と評価されているもので、おもに2種類ございます。本当に支援が必要な子どもだけを集めた子ども食堂と、地域の誰でもご飯を食べに来てください、という子ども食堂。ほとんどが誰でも来て良いですよ、という運営をしています。元々、東京都大田区で八百屋さんが行ったのが始まりです。民間・地域が始めたものなので、国や県が定義づけする事ができなくなっており、それぞれの地域で、それぞれのやり方で行っています。今大きな流れになっているのは、地域の誰でも、おじいちゃんおばあちゃんも来てください、という子ども食堂でして、地域コミュニティを生み出す場という展開になってきています。この間の新聞発表によると、今は全国で3718件あるということです。富士見市でも一小学校区に1つずつを目指しましょうという事で、子ども未来応援センターで相談に乗っています。

【委 員】一学区に1件とは、合計何件になるのでしょうか。

【事務局】富士見市に小学校は11校ありますので、11件を目指しています。今、市内で7箇所あります。ほとんどが月1回の活動で、月1回で役に立つのかというご意見もあるのですが、子どもを見守るという点では効果を生んでいます。2ヶ月、3ヶ月とやっていくと、地域のスタッフと子どもが仲良くなり、「実はパパいないんだ」といった話をしてくれる事もあって、そこから支援が始まる事もあります。一昨日、子ども食堂全体の交流会がありました。少しでも気になるお子さんがいた場合は、必ず子ども未来応援センターの方に情報をくださいとお願いしています。

【委 員】基本的にNPO法人が運営しているのでしょうか。

【事務局】ほとんどが民間の地域団体です。本当に近所のおばちゃん達が集まって、いらっしゃいという感じでやっています。無料、あるいは低額50円~100円くらいで一食を提供しています。

【委 員】民間の場合ですと、財源はどうしているのですか。

【事務局】もちろん参加者からも料金はいただいているようですが、交流会の中で話を聞くと、厳しい経営状態のところもあります。「子ども未来応

援基金の創設」というものが、資料2の2ページ一番下にございまして、子ども食堂5団体に助成をしているとなっております。皆さんから頂いた基金の中から、年間各団体15万円を上限に助成しているものです。

【委員】1回15,000円くらいですか。

【事務局】20～30人のお子さんだと十分だと思います。

【委員】という事は、ボランティアも入ってきているという事ですか。

【事務局】団体によりますが、調理ボランティアもお金を払っているところもあるようです。

【委員】近隣の農家さんのボランティア支援というのもあるのでしょうか。野菜を提供するとか。

【事務局】そういった事もそれぞれ団体によって違います。子ども未来応援センターでも、野菜が手に入ったらそれぞれの子ども食堂に分けるという事もしています。

【委員】私も子ども食堂の説明会には出席しました。3ページに空き家の利活用とありますが、所有者と協力して、空き家を子ども食堂にしようという活動も出てきています。また食料についても、残食の活用を考えれば、学校給食で余った食材がある所もありますので、そういった所と連携すれば良いと思います。なかなか担い手がいないというか、難しい所もあると思いますが。場所や材料はうまく連携して活用すれば、ボランティアの方に協力していただいて、できるのかなと思います。

【事務局】調理の手伝いはできると言ってくれる方は各地域にたくさんいらっしゃると思いますが、それをまとめて団体として始めましょう、という方がなかなかいらっしゃらない。気持ちのある人はこれからマッチングをしていこうという事で、今は市民運動としてサポーター登録をしていただく運びになっています。

【会長】制度化されているわけではないので、今後どのように展開していくかについては検討が必要だと思います。なんでもボランティアに頼るわけにはいかない部分もあり、その時どうすれば良いかという事は、応援センターやこの会議でも検討していく事が出てくるかもしれませんが、今はまだ民間の方でやっているという段階かと思います。他にご質問はありますか。

【委員】資料について、具体的な取り組みにがこちらに書いてあるものという事ですか。この評価が、AやBと評価されていると解釈してよろしいでしょうか。また、市の関係部署で評価されたという事で、市民がやった評価ではないという事ですよね。

【事務局】はい、それで今回審議をいただいているわけです。

【会 長】他にはいかがでしょうか。

【委 員】話が戻りますが、子ども食堂の財源について。実際に自分が野菜を買っている農家さんで、売り切れない部分の野菜を捨ててしまっているという話を聞きました。そういった農家さんと連携を取ることで、子ども食堂の財源も確保できるし、食品ロスにもならず済んでよいと思います。検討の段階になった際に、こういった事も検討いただければと思います。

【事務局】子ども未来応援ネットワーク会議の設置というのがあります。商工会や医師会、商店会連合会等がメンバーの会議で、ここで貧困対策について情報提供していますが、そこにJAさんが入っています。前回のネットワーク会議でサポーター募集について合意をいただいたので、次回の会議では農家さんにもぜひサポーターになってください、というお話をしていこうと思っています。

【委 員】フードバンク等の活動も行われていますが、そういった取組みを進める事で、その中で集まった食料や資源を有効活用する流れを作っていくと、子ども食堂に限らず施策的に生きるのではと思います。

【事務局】フードバンクについては、今度新しい団体が開始をするという事ですので、秋にはご報告ができるかと思っています。

【会 長】他にはいかがでしょう。これでよろしいですか。

～委員一同異議なし～

(2) 第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画の策定について

- ・策定の概要 (資料 3-1)
- ・スケジュール (資料 3-2)
- ・ニーズ調査結果について (資料 3-3)
- ・計画構成案 (資料 3-4)

～事務局より説明～

【会 長】昨年度実施した調査の集計が出たわけですが、特に気になった点が何かございましたらお願いします。

【委 員】アンケートで不明、不回答の数字が多いのですが、これについてはお答えしたくないという事であれば問題ないのですが、質問事項の言い回し等で理解がしづらいだとか、あるいは感情的な齟齬があり回答できないとなると話が違ってくると思います。そのあたりはいかがでしょう。

【事務局】不回答の理由までは推し量れない部分がございます。

【委員】5ページで「子育てを相談できる人・場所がない」と回答した方が4.5%という事でした。例えば就労していますか、という質問は簡単に回答できると思いますが、こういった微妙な質問については、質問の仕方によって回答が変わってくると思います。そのあたりの言い回しについては十分配慮されていますか。

【事務局】この調査の設問については、国が全国同様の内容で実施をするようにという事で指定された設問ですので、その設問の言い回しを使用しております。また、前回も同様の内容で実施しており、5年前と全く同じ調査で行っております。

【会長】国の方針に基づいて行っているという事ですので、ご了承いただければと思います。この結果をベースにして、来年度以降の計画策定に関わってくるわけですが、これを見てご指摘、またはご意見があるようでしたら会議の中で、もしくは事務局までお願いいたします。

(3) 第一期富士見市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について (資料4)

～事務局より説明～

【会長】事務局より説明がございましたが、かなり分量がございます。パソコンから打ち込む事も可能ですので、ご希望の方は事務局へアドレス等を伝えていただければ、資料そのものがExcelで送られてきますので、そこに打ち込んでいただく事もできます。ご質問等ないようでしたら、協議事項を終了します。

6. 事務連絡

【事務局】次回の会議につきまして、8月30日(金)の午後1時30分よりお願いしたいと思います。場所については決まり次第、改めてご案内をさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

7. 閉会 副会長